

北海道駒ヶ岳

○ 火山活動評価：静穏な状況

火山活動は静穏に経過しています。わずかな山体膨張や、2003年9月以降見られている昭和4年火口からの弱い噴気は引き続き観測されています。

○ 概況

・噴煙活動（図2）

2003年9月以降、昭和4年火口からの弱い噴気が時々観測されています。

・地震活動（図2、図3、表1）

1日及び19日に微小な地震が一時的にややまとまって発生した他は、地震活動は低調な状態で経過しました。火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動（図4、図5）

GPS連続観測では、季節変動の影響も見られますが、わずかな山体膨張を示す基線長の伸びの傾向が引き続き認められています。

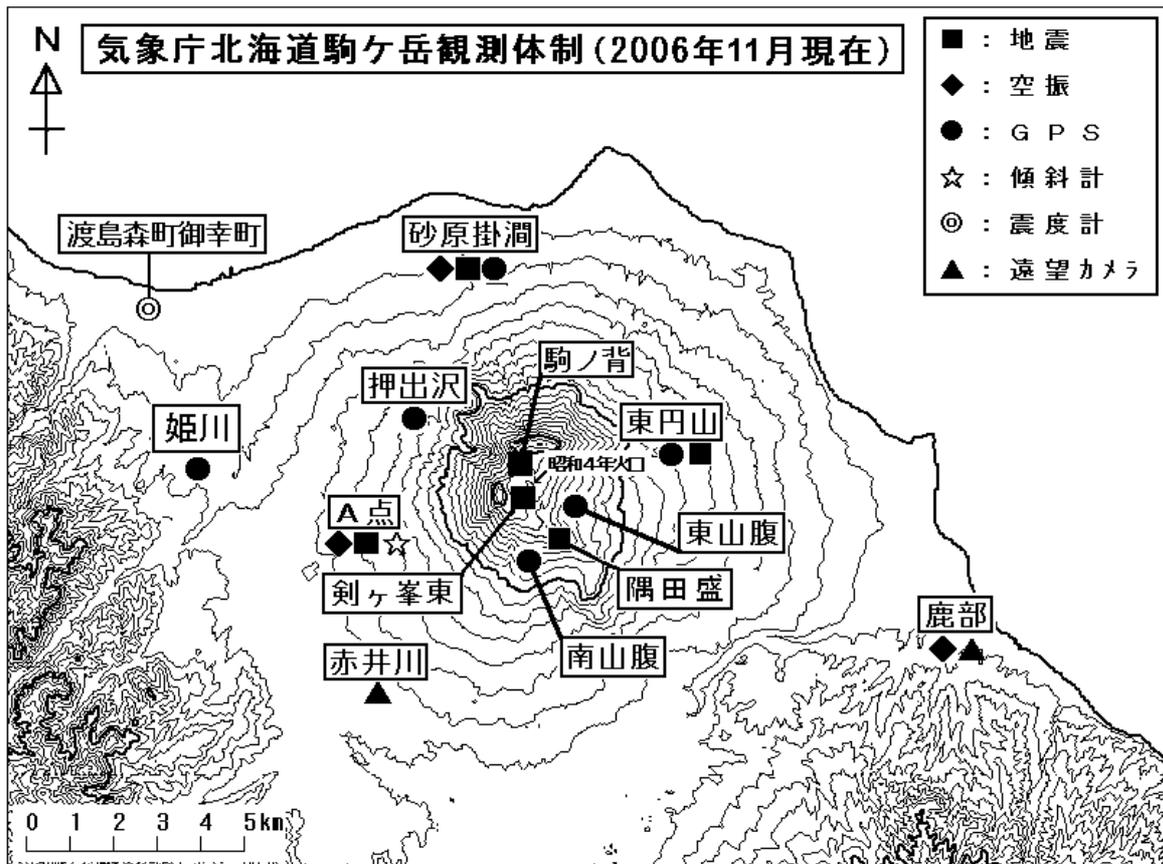


図1 北海道駒ヶ岳火山観測点配置図

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています。（承認番号 平17総使、第503号）

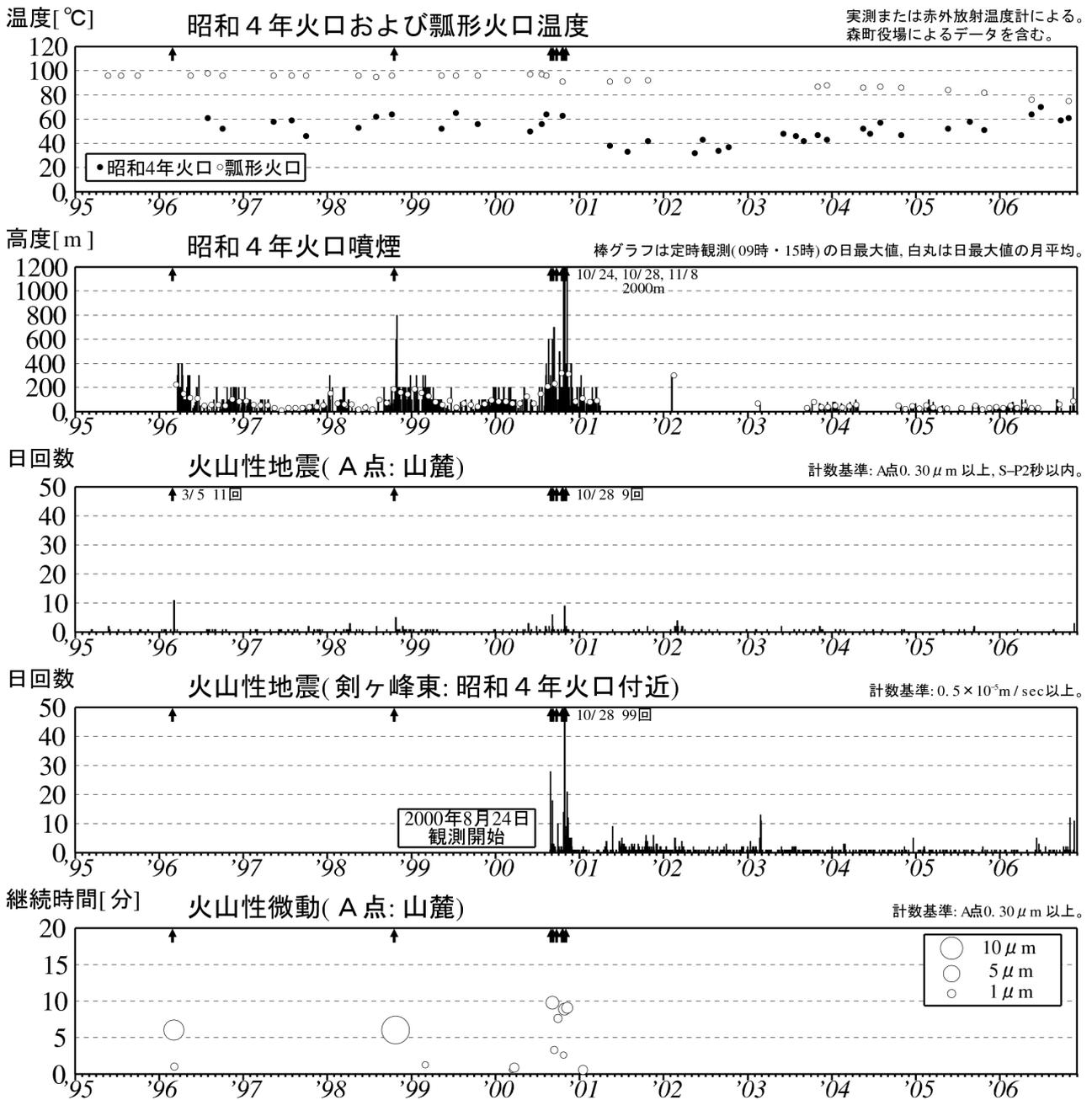


図 2 北海道駒ヶ岳 最近の火山活動経過図（1995 年 1 月～2006 年 11 月）↑印は噴火
 ・昭和 4 年火口では 2003 年 9 月以降 10～50m 程度の噴煙が時折観測されています。
 ・昭和 4 年火口の火口温度は、2002 年以降緩やかな上昇傾向が認められています。

表 1 北海道駒ヶ岳 地震・微動の月回数

2005～2006 年	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
A 点地震回数	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	3
剣ヶ峯東地震回数	2	3	2	3	2	0	12	2	5	2	11	25
A 点微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

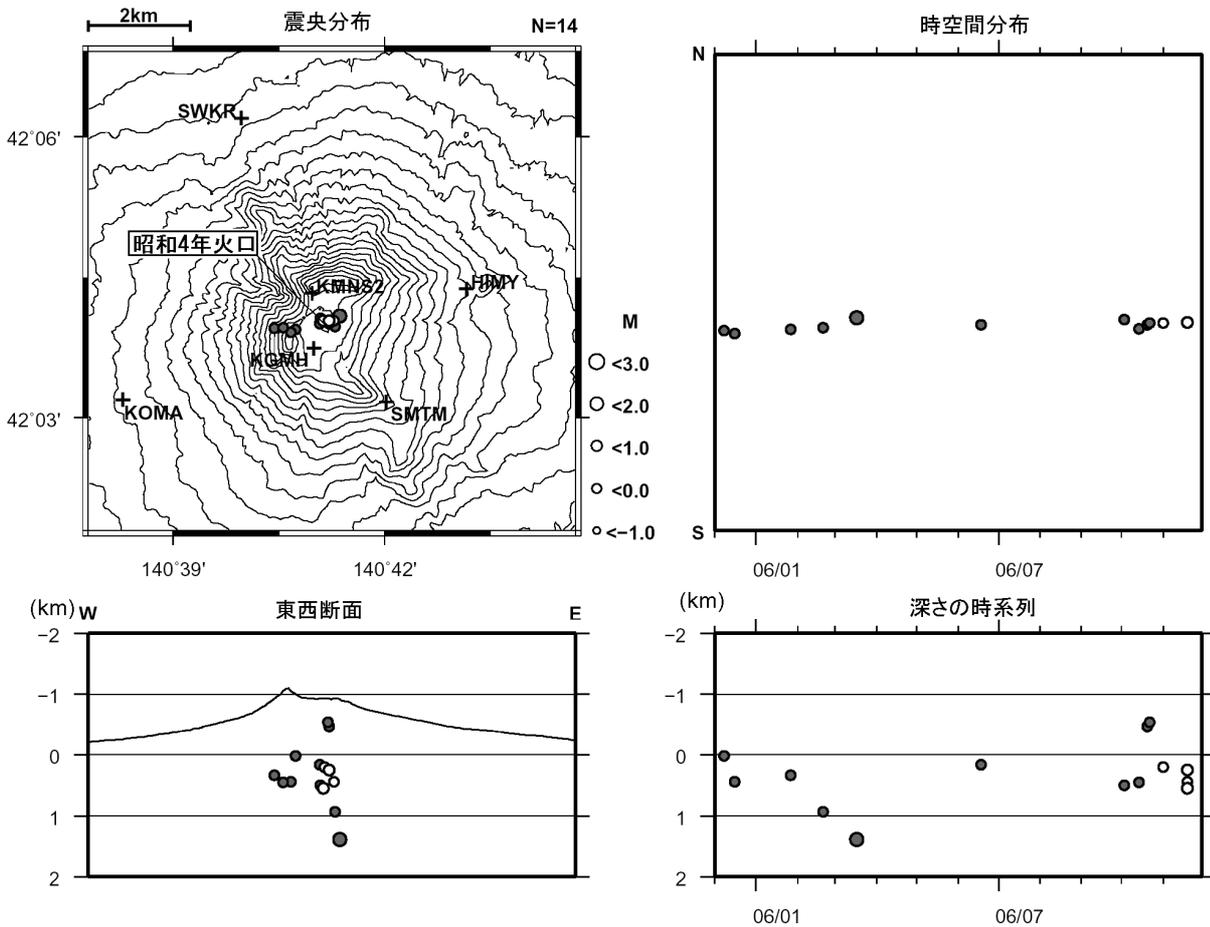


図 3 北海道駒ヶ岳の震源分布図 (2005 年 12 月～2006 年 11 月、+は地震観測点)

○印は今期間 (2006 年 11 月) の震源

●印は前期間までの 11 ヶ月間 (2005 年 12 月～2006 年 10 月) の震源

- ・ 1 日および 19 日に、山頂の剣ヶ峯東観測点 (図 3: KGMH) で観測される微小な地震が一時的にまとまって発生しました。これらの震源は、山頂火口原直下の浅い所 (山頂から深さ約 1～2km 付近) と推定されます。
- ・ 火山性微動は観測されませんでした。

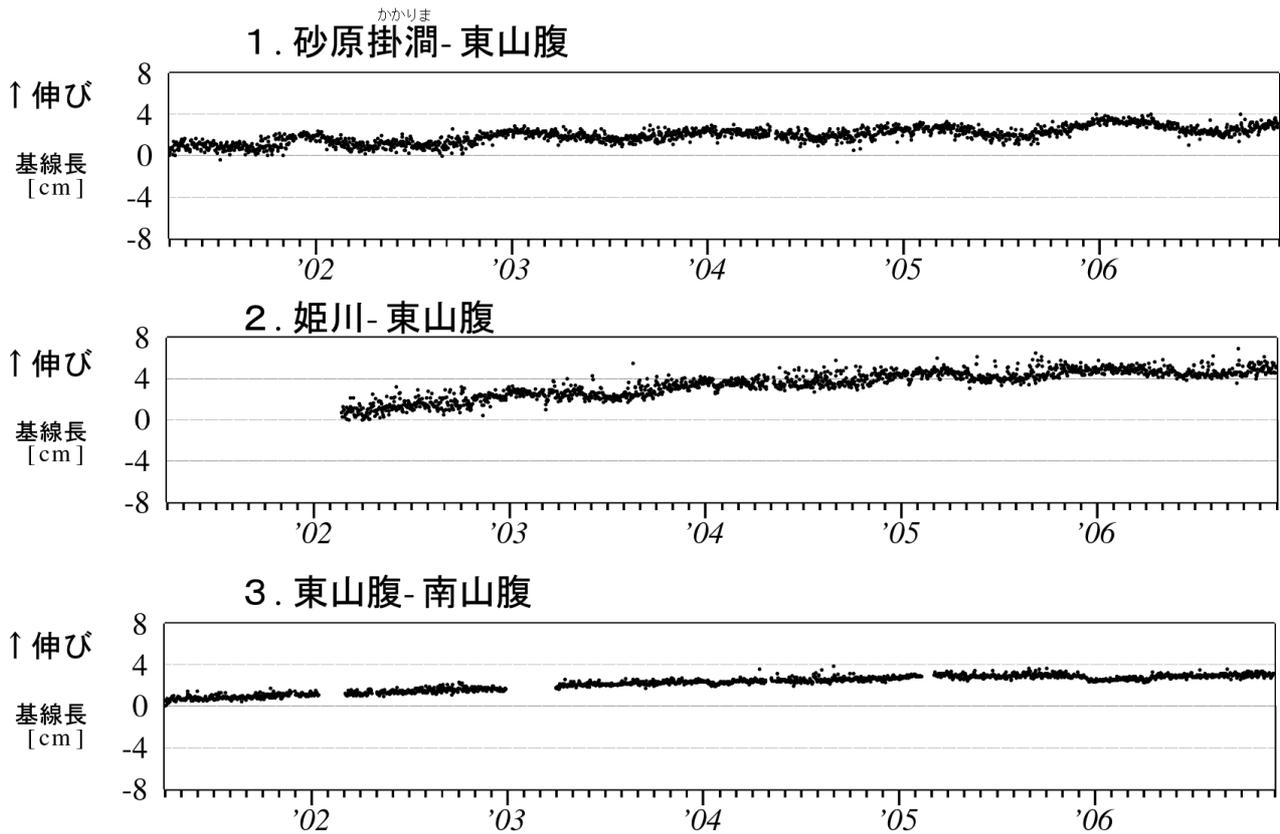


図4 北海道駒ヶ岳 GPS 連続観測による基線長変化 (2001年3月~2006年11月)

グラフの空白部分は欠測

- ・GPS 連続観測では季節変動の影響も見られますが、わずかな山体膨張を示す基線長の伸びの傾向が引き続き認められています。

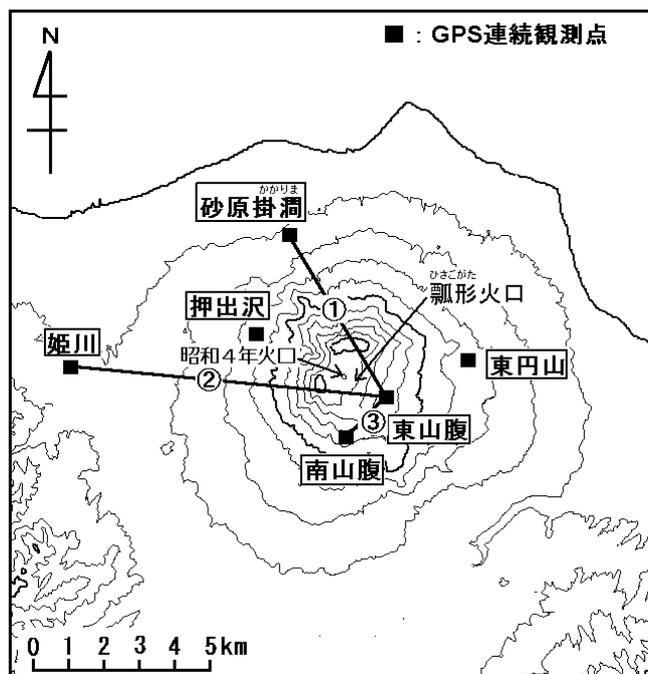


図5 北海道駒ヶ岳 GPS 連続観測点配置図